

会議の経過

川野 課長	<p>1 開会</p> <p>皆様、こんにちは。定刻となりましたので、ただ今から令和2年度第1回大井町総合教育会議を開催いたします。私は、本日司会を務めさせていただきます総務課長の川野と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは早速、次第に沿って進めてさせていただきます。</p> <p>「次第2 町長あいさつ」小田町長よろしくお願いいたします。</p>
小田 町長	<p>2 町長あいさつ</p> <p>皆様、こんにちは。日頃より町の教育行政に御尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、本日は、今年度、第1回の総合教育会議に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症のことは聞き飽きる程でありますけれども、御承知のとおり世界中で大きな影響をもたらしております。本町においても、行政運営に大きな影響をもたらし、今までの私たちの生活様式が大きく変化いたしました。教育現場においても休校になるなど、過去に例を見ない出来事が起こりました。しかし、このような状況の中でも、子ども達には、より良い教育環境を提供し続けなければならないと考えております。</p> <p>そこで本日は、「with コロナにおける新しい生活様式について」と、「学校給食センター業務の一部委託について」について協議いたします。</p> <p>教育委員の皆様には、活発な御意見を頂けますようお願いするとともに、私も皆様の御意見に耳を傾けてまいりますので、何卒、よろしくお願い申し上げます。限られた時間ではございますが、忌憚のない御意見をお聞かせくださるようお願い申し上げます。私からのあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
川野 課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>さて、本日の出席者につきましては、御手元に配付させていただきました次第の裏面にございます「出席者名簿」のとおりとなっております。本日は、全員の出席をいただいておりますことを御報告させていただきます。</p> <p>それでは、「次第3 協議・調整事項」に移ります。大井町総合教育会議運営要綱第2条第1項の規定によりまして、議長は町長となりますので、これからの進行は小田町長にお願いいたします。</p>

小田町長	<p>はい。それでは、私が議長を務めさせていただきますが、会議の性格上、私からも意見を述べさせていただくことがあろうかと思えます。予め御了承ください。</p> <p>それでは（１）「with コロナにおける新しい生活様式について」を協議したいと思います。新型コロナウイルスとの戦いは、長期化すると予想され、新型コロナウイルスと共存していくための新しい生活様式が求められます。新型コロナウイルスの猛威から、子ども達の学校生活を守るため、油断なく対策を推進していくためには、町部局と教育部局が情報共有をすることが大変重要だと考えております。そこで、まずは説明者から要点に触れて説明をお願いいたします。</p>
大川指導主事 山崎社教主事 矢吹課長	<p>3 協議・調整事項</p> <p>(1) with コロナにおける新しい生活様式について</p> <p>(※パワーポイントで、学校の取り組みについて説明をした。)</p> <p>(※パワーポイントで、社会教育施設の取り組みについて説明をした。)</p> <p>(※パワーポイントで、保育園の取り組みについて説明をした。)</p>
小田町長	<p>それでは、ただ今説明が３つありました。さらに詳しく聞きたいことや質問などがありましたら御発言いただきたいと思います。いかがでしょうか。</p>
石井教育長職務代理者	<p>学校教育についてお伺いしたいと思いますけれども、中学３年生におかれましては、これから高校受験があり非常に不安を感じていることと思えます。コロナ対策として生徒や保護者に向けて、どういった指導を学校ではなさっているのかをまずお伺いしたいと思います。おかげさまで大井町では、中学３年生に独自の対策としてインフルエンザの予防接種の補助をしていただけると伺っておりまして、大変ありがたいことだと思っております。受験生に対する対応について伺いたいと思えます。</p>
小田町長	<p>この件は、大川指導主事お願いします。</p>
大川指導主事	<p>すでに皆さま御存知かと思えますが、７月に県教委から神奈川県立高校入試に向けて、今年度の学力検査の範囲について一部内容が削除されました。それに則って学校でも様々な制限がある中ですが、例年より小テストで確認の時間を多く取る中で、子ども達の学力の定着をきちんと図りながら取り組んでいるところでございます。以上です。</p>
牧野委員	<p>GIGA スクールに関してお伺いします。町長の御理解により今年度中</p>

<p>小田町長</p>	<p>に1人1台タブレットということで御協力賜りましてありがとうございます。その中で3点程ですが、Googleを使うということで外部委託をすることだと思いますが、これは相和小学校がやっているICTとはちょっと違うのですか。</p> <p>それともう一つ、今コロナ禍の中で教職員の方が非常にタイトになっているかと思えますけれども、そこで教職員の方にプラスICT教育に関しての学習というか研修をやっていくのにスケジュール的なことはどうなのか。</p> <p>最後に、先程家庭におけるICT機器の活用について、保護者の理解と協力とありましたけれども、これは協力じゃなくてやはり保護者もある程度の知識がないと、例えば子ども達がそれに対しての対応ができなくなった時に、保護者が面倒を見ることになろうかと思えます。その辺はどのようになっておりますでしょうか。</p> <p>GIGAスクールと相和小学校のICT教育がどう違うのか。</p>
<p>大川指導主事</p>	<p>これまで相和小学校のICT端末を先行して取り組んできた中で、授業中のツールとして活用し、相和小学校は取り組んできました。子ども達も実際授業の中で活用する場面が、非常に多く見られてきましたが、これからは、先ほどの資料の中でのお話させていただいたとおり家庭でのコミュニケーションだったり、子どもと教員とのコミュニケーションとしてのツールとしても使っていかなければならないので、これまでの相和小学校での取り組みも活かしながら、新たなツールとして端末を使っていかなければならないと心得ています。</p> <p>2点目の教職員の研修に関しては、先ほどお話したG suite for Educationという無償の支援ツールを使って取り組んでいくにあたって、すでに本町ではアカウントを作成済みでありまして、夏休み前に各学校の研究主任ICT担当の職員には、こういうものを導入していくということを学校の教職員のタブレット端末を使ってお話をしているところでございます。ただ今、御指摘がありましたように時間がかなり厳しい中で又は先生方の授業や消毒作業、日頃の感染症対策等に追われている中で随時計画をしっかりと立てて、後は全職員に浸透していくような研修の計画を現在立てている段階であります。</p>
<p>小田町長</p>	<p>最後に家庭でのインターネットツールについて、どう対応するかという質問だったと思いますが。</p>
<p>牧野委員</p>	<p>保護者がある程度協力といっても、それに対する学習を施されないと家庭で何か問題があったときにどうするのか。それは随時、慣れの中で</p>

大川指導主事	<p>やっていくのか分かりませんが。</p> <p>まず、1人1台端末の持ち帰りについては、今後検討になると思いますが、その前にきちんと約束事、ルールを作成していくことが、まず1つあると思います。併せて学校で子ども達が、まず活用できるように利用できるような資料も必要になってくると思いますし、今、御指摘がありましたように、家庭で使用するにあたって使用方法、又は活用方法についても通知といいますか、マニュアルと言えるかわかりませんが、作成をして配付していくのかなと受け止めている段階です。</p>
牧野委員	<p>ありがとうございます。</p>
夏苺教育長	<p>今、牧野委員さんから御質問いただいたことで、最初と最後の2点について補足で説明させていただきたいと思います。御案内のとおり相和小学校では先行的にICTを活用した授業に取り組んできたところがございますけども、そちらについては授業の中でのツールと指導主事が申しましたとおりです。一斉学習それから個別学習、それから協働での学習と、そういった中でどう端末を使うかということで取り組んできました。今、言われているオンラインだとか、文部科学省では遠隔教育といわれてきましたけれども、どちらかというとな少人数の小規模の学校同士で合同で行ったり、そういったところに視点があてられていたと私自身は理解しておりました。ですから遠隔教育と言われても、そこまで視点は設けていなかったところなんです。それが今回休校になって、かなりそれがクローズアップされて何か1人1台端末がそのためになされているような誤解を招いているところがあるんですが、実際、文部科学省でも5年計画を非常に加速化させた背景には、当然このことがあったということです。やはり授業の中のツールということについては、今後も大事にしていかなければならないし、どちらかというそれが日常的な中で行われることだと思います。併せて遠隔教育で、家庭の対応についても考えていかなければいけないかなということの中で、現在進めているということで、御理解いただければいいのかなと思います。</p> <p>それから最後の家庭、保護者の協力のところでございますが、当然そういうところについては、大事な視点になってくると思いますし、よく言われているのは、家庭の教育力によって差が出てしまうのではないかと危惧されています。そういう意味では先ほど、指導主事が申しましたようにマニュアルだとか、普段学校で慣れ親しむことができているならばネットでの対応がどうかという話なのかなと感じがします。個々の対応になってくるのかもしれませんが、今後状況を見極めながらと思っております。以上です。</p>

牧野委員	ありがとうございます。
小田町長	その他、何かございますか。小島委員どうぞ。
小島委員	長期間の休校を経て学校が再開されましたが、その中で学びの保障や児童生徒の心のケアが課題になりました。心のケアでは、先ほどの説明で具体的な取り組みが紹介されましたが、大井町では独自の取り組みも手厚く対応されていることに感謝いたします。コロナの関係で登校しぶりになった児童生徒のことがメディア等で話題になりましたが、大井町では登校しぶりをしている児童生徒の現状はいかがでしょうか。
大川指導主事	つい先日、幼児児童生徒指導担当者会議の中で情報共有を行いました。生活リズムの乱れが見られる傾向のお子さんが多いと伺っております。併せて登校しぶり、長期欠席には至っていませんが、登校しぶりが見られるお子さんも例年に比べると多いという話を伺っております。
小島委員	ありがとうございます。
中條委員	今の小島委員さんの御質問とも関連するのですが、過日マスコミの報道の中で、例えば同居の家族に基礎疾患を持った方々が居られる中で、感染の不安から登校できないあるいは自主休校と、報道では言っていたように記憶していますが、そういう感染の不安から学校に来れなくなった園児であるとか児童生徒、これは大井町ではどうだったでしょうか。
大川指導主事	6月の段階的な再開の当初は、若干見られたと話は伺っておりますが、今現在の中でそういう事情、理由で家庭でお休みというか自主的に欠席しているというお話は伺っておりません。
中條委員	ありがとうございました。
小田町長	その他に何かございますか。石井委員。
石井教育長職務代理者	社会教育についてお伺いしたいと思います。今年度に関しては、事業をかなり縮小してきたと思いますが、次年度以降もですね、この事業が継続できるとは限らないと思います。いわゆる三密を避けるという対策で感染防止をする以外に事業内容や実施方法で、どのような対

小田町長	<p>応を次年度に考えているのかを伺いたいのと、結局それが自治会の活動だとか、再開の見本にもなっていくんじゃないかと考えていますのでいかがでしょうか。</p> <p>三密回避以外で、ということですね。</p>
石井教育長職務代理者	<p>そうですね。三密を避けるという感染防止対策の他にですね、どういった対策を打ってどういった事業を実施していくのか。</p>
山崎社会教育主事	<p>三密を避ける以外ということで、いろいろなアイデアを出していかなければならない部分もあると思いますが、三密を避けることがまず大前提として今後の事業は実施していく必要があると思います。それから文化団体連絡協議会等の活動で、これまでどおりの気軽な活動には及ばないかと思いますが、可能な限り動画の配信であったり、ホワイエを活用して多くの方の目に留まるような工夫をするということが、コロナの中での機会につながる新しい工夫として考えていきたいと思っています。また青少年育成事業のキャンプ、スキー事業も結局のところ三密対策になってしまうかもしれませんが、日帰りを実施をしたり、人数を縮小して狭めたりすることを大前提として行っていきたいと思っています。大井自然園の動画の話をしました。縮小した人数で行っている動画を多くの人に提供できるような工夫も考えられるかと思っています。まとめて言うと三密を避けることで参加人数を狭めて実施することが来年度に向けていろいろな事業で想定されると思います。絞りながらも、より深く学べるような発展的で濃い内容の講座を実施することによって、講座を経験した人がさらに学びを深めてさらに受講した人が広めていけるような循環できるような講座を実施していきたいと考えています。今後のコロナの状況によっても、事業の実施方法で工夫が考えられると思いますが、今のところはこのように考えております。</p>
石井教育長職務代理者	<p>ありがとうございます。</p>
小田町長	<p>その他に何かございますか。保育園の対応など、まだ出ていませんので、何かあればどうでしょうか。保育園に限らずでも。</p>
石井教育長職務代理者	<p>保育園では給食の提供を変わずに、ずっと行っていたかと思いますが、給食提供について何か工夫された点はございますでしょうか。</p>

矢 吹 課 長	<p>保育園の給食は継続的に実施したところですが、特段メニュー等に工夫はしておりません。先ほど説明したとおり、園児との間隔を空けたり対面にならないようにし、年中と年長の4歳児5歳児につきましては、対面を止めております。1列に並ぶように実施、給食を摂るようにしています。3歳児以下につきましては保育士がそれぞれつきまでするので、その間隔を空けたり小グループに分けたりして、間隔を保って実施している状況です。以上です。</p>
小 田 町 長	<p>それではもう1つ、給食センター業務の一部委託についても協議しなければいけませんので、とりあえず with コロナにおける新しい生活様式については一旦中締めさせていただきまして、何かあればまた後でお願いします。</p>
中 條 委 員	<p>意見でもよろしいでしょうか。</p> <p>学校教育の関係です。いろいろオンライン授業等が脚光を浴びている昨今の状況ですけれども、もちろん ICT 環境を整備して、オンライン授業という流れは1つの流れとしてあると思います。ただ先ほどの説明の中にもあったのですが、先生方の研修をどう進めていくのか、子ども達の情報活用能力をどうやって高めていくのか、あるいは情報モラルをどう高めていくのか等、いわゆる学習状況調査の結果から見ると、結構心配な状況もある訳ですよ。そういうものを絡めて、どういう風に高めていくのかがこれからの大きな課題ではないのかなと思うのと同時に、やっぱり学校での対面の授業の良さがあると思います。先生が子ども達の反応を見るとか、他の生徒達が一生懸命やっているのを見てそれが刺激となって相乗効果となって授業の質が高まっていくような、そういう部分を考えたときにはオンライン授業だけではなくて、例えば分散登校の中で少人数での授業も展開してきたと思うんです。そういう良さをこれからもっともっと追及していく。過日、教育委員会からいただいた全国市町村教育委員会連合会でしたか、そこに文部科学省への要望の中にも緊急的な重点要望として、少人数学級の要望が出てましたけれども、そういう流れをもっともっと力を入れていくような形、それをオンラインと並行してやっていかないといけないのかと思っております。</p>
小 田 町 長	<p>私もそう思います。やっぱり体感というか体温を感じるような教育をしていかないと、言い方一つで体感が違うと思うんですよ。こういったものを大事にできるようなお付き合いというか、つながりというか、大事だと思います。コロナという状況で接近できないような、行き過ぎかなと個人的には思っているんですけれども、まあ仕方ないん</p>

<p>中 條 委 員</p>	<p>ですけども。あくまでも補助的なものデジタル社会というのか、そういった子ども達にデジタルという今後世界はそうなるでしょうし、そういった勉強ももちろん会得しなければならないんでしょうけど、基本は先ほど言われたような人間の付き合いができるような社会だろうと思います。そういった教育を忘れてはいけないと思います。</p> <p>もう1つなんですが、タブレット端末が子ども達に行き渡って素晴らしいことだと思うのですが、その一方、今まで以上に読書離れが進むような懸念もあります。そうならないような、いろいろな手立てをこれから講じていかなければならない。せっかく大井町は、町長さんのお力で図書カードを配布していただいた訳ですから、そういう部分も手立てを是非講じていただければと思います。</p>
<p>夏 苺 教 育 長</p>	<p>今の関連でよろしいでしょうか。いろいろないいお話をいただいたので、紹介をさせていただきたいと思います。</p> <p>まず、少人数学級の件は国も動き出していて、文部科学省が財務省にでしょうか今年度の予算要望をしています。少人数学級というと35人学級をイメージしますが、今30人学級の動きが出ています。しかしながら、それが何年生までとかではなくて、総枠の中でと言っているのを新聞で見ました。これに関してはコロナがきっかけで、なおさら話題がいろいろなところから出ているのかなと思っています。中條委員さんの御理解のとおりかなと思っています。おかげさまで今年度については、コロナの関係もあって、かなり国、県では予算措置をいただいている中で、人がいろいろな意味で学校に入って対応しているところがあります。それが来年度どうなるか若干心配なところもあるんですけども、遅れの部分ってことは無く、対応したと理解しております。併せて町雇用の学習支援員さん等を付けていただいておりますので、そちらでかなり対応しております、状況によっては1クラスを2クラスに分けて授業を実施してきた事例もございます。引き続き町長さんにはお願いできたらなと思います。</p> <p>もう1点が、図書カードの件ですけども、何人かの人に状況を聞いたら皆さん好評でした。二千円がいいですって、千円だと本が買えないって言われまして、各御家庭それをきっかけに本を買ったり図鑑を買ったりしたと聞いております。全部が全部ではないですけども、町長さんの御理解をいただいて対応できたというのは良かったと思います。</p>
<p>小 田 町 長</p>	<p>まだまだあろうかと思いますが、時間もありますのでここまでといたします。</p> <p>次の協議・調整事項ということで(2)「学校給食センター業務の一</p>

橋本 所長	<p>部委託について」を協議したいと思います。学校給食センター業務については、業務の効率化などを目的として、今年8月1日から業務の一部、調理業務を民間業者に委託することになりました。学校給食は、子ども達の成長に大きな役割を果たしており、栄養バランスを考慮し安全で美味しい給食の提供が必要であることから、重要な業務の一つだと考えております。委託したことによって委託前には想定できなかったことなど、多くの苦労があったかと思いますが、現在の状況、また今後の町職員の役割について情報共有したいと思います。まずは、説明者から要点に触れて説明をお願いします。</p> <p>(※パワーポイントで、学校給食センターの取り組みについて説明をした。)</p>
小田 町長	<p>それでは、ただ今の説明を受けまして、先ほどと同じようにさらに詳しく聞きたいこととか、御質問がありましたらよろしくお願いいたします。</p>
石井教育長職務代理者	<p>業務委託とは関係ないんですけども、学校給食センターは平成20年に新設されまして、早12年ぐらい経っているかと思いますが、経年劣化による設備の更新状況は、どうやって行っているのでしょうか。</p>
橋本 所長	<p>確かに平成28年頃から様々なところで修繕、または備品等の更新が必要になってきております。予算が絡むものですから、平成30年度の予算から通常の修繕費の中に別枠として、計画修繕という予算項目をお願いして今その状況で行っておりますが、夏休みに厨房関係の保守点検が入ります。それによって部品交換等の様々な修繕が報告として上がってきておりますので、それについては前もって計画修繕ということで、優先順位を付けながら実施している状況です。</p>
石井教育長職務代理者	<p>やはり安心安全で給食を提供していくためには、必要な経費だと思いますので是非とも町の御支援をよろしくお願いいたします。</p>
小田 町長	<p>他に給食センターのことでございますか。</p>
中條 委員	<p>先ほどの説明の中で、給食センターと栄養士さんと調理員さんと委託会社、非常に連携が上手く図られていて安心安全な給食が提供できているということで安心をいたしました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。その中で毎月、給食センターで出されている給食だよりを見ますと、家庭でも豊かな食生活を送れるようなアドバイスというか指針が網羅されていて、いつも給食だよりを見るのが楽しく</p>

	<p>なるのです。是非、感染リスクに配慮する中で、学校給食を提供していくのは大変なことだと思いますけれども、これからも素晴らしい大井町の子ども達のために給食の提供をしていただけたら、ありがたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
小田町長	<p>質問ではありませんが、コメントがあればどうぞ。</p>
橋本所長	<p>そうですね、安心安全プラス美味しい給食の提供に努めてまいりたいと思います。</p>
小田町長	<p>その他にいかがでしょうか。</p>
夏苺教育長	<p>いいでしょうか。民間委託というのは給食センターが新しくなったときから実は話題になっておりました。その当時どうするか直営でやることで、やってきた訳ではありますが、昨今のいろいろな事情の中で今回の委託になったところでございます。それから委託した業者さんも、かなり協力的で私も責任者の方とお会いして社長さんと一度町長さんと訪問される中で御挨拶させていただいたところでございます。いろいろなところすでに取り組みられていることもあって、また会社としても協力をいただいている話を伺うことができたので、安心していただいております。当然それに向けては橋本所長を始め給食センターでも、いろいろ対応をして準備を整えてきたところでございますが、今のところ特段大きな問題も無いと報告を受けておりますし、当然細かいところでは調整していかなければならないところもあるかと思っておりますけれども、そういう意味では安心してスタートが出来たのかなと思っております。コロナの関係もあって若干食数を増やしたり当初の計画とは違った内容であっても、快く対応していただいたというのが現状でございます。</p>
小田町長	<p>確かに今後いろいろ予定していないようなことが出てくる場合も想定されます。先ほど言われた相談体制や環境を整備したいと話がありました。そこのところは大事なところでもありますので、向こうはビジネス、こちらはビジネスではないけれども、しっかりと給食の提供を安心安全にするためには、いろいろ出てきた課題を勝手にそれぞれが憶測でやらないで、相談した中でしっかりと連携をとる体制が一番大切だろうと思います。要するに信頼関係がなければいけないと思いますので、口の中に入るものですので特に注意が必要で意識をもって取り組んでいただければと思います。私も注意をして務めていきたいと思っておりますので、皆さんの協力をお願いしたいと思います。</p>

夏苜教育長	<p>1点いいですか。調理員さんの関係ですけれども、委託になっても今まで長年やってきた方を快く対応していただきまして、中には正規の職員になられた方もいると聞いています。そういった配慮もあり、そういう意味でもスムーズにできたのではないかと思います。</p>
小田町長	<p>それではこの件はこれで終了します。</p> <p>その他、遑っても構いませんので、その他何かありましたら御発言願います。特になければ、これで私の任を解かせていただきます。貴重な御意見をいただきまして、誠にありがとうございました。それでは司会に進行を戻します。</p>
川野課長	<p>4 閉会</p> <p>それでは長時間にわたり御協議いただきまして、ありがとうございました。</p> <p>さて、今年度の第2回の大井町総合教育会議につきましては、来年の2月頃を予定したいと考えてございます。また、期日等が具体になりましたら、お知らせをいたしますのでよろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、以上をもちまして、令和2年度第1回大井町総合教育会議を閉会いたします。ありがとうございました。</p> <p>閉会時刻 15時26分</p>